

2024年度 第45回 大阪府高等学校芸術文化祭 放送文化部門  
朗読部門 結果・講評一覧

| 番号 | 評価 | 講評など<br>(仲山先生) | 講評など<br>(安田先生) | 講評など<br>(その他の審査員) |
|----|----|----------------|----------------|-------------------|
|----|----|----------------|----------------|-------------------|

【審査員】

|        |               |          |  |
|--------|---------------|----------|--|
| 仲山 豊秋  | 元NHK          |          |  |
| 安田 知博  | 放送部インストラクター   |          |  |
| 伊藤 元也  | 四天王寺東高等学校     |          |  |
| 秋本 みゆき | 府立いちりつ高等学校    |          |  |
| 鎌田 潤   | 府立三島高等学校      |          |  |
| 田中 亜佐美 | 府立東高等学校       |          |  |
| 山本 武彦  | 浪速高等学校        |          |  |
| 木原 琴音  | プール学院高等学校     | (計時)     |  |
| 小林 修   | アサンプション国際高等学校 | (原稿チェック) |  |

7人の審査員が100点満点で採点し、合計700点で評価しました。

その上で、規定違反(もとの作品と異なる、原稿通り読めていない等)について減点しました。

その得点を基準として、上位3位を優秀賞、続く3人を奨励賞としました。

また、入賞まで14点以内をA評価、35点以内をB評価、それ以降をC評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

※ 審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

| 番号 | 評価 | 講評など<br>(仲山先生)                       | 講評など<br>(安田先生)   | 講評など<br>(その他の審査員)  |
|----|----|--------------------------------------|--|--|
| 1  | A  | もっと大きな声遣いをしてほしい。声の使い方がモノな状態になっている。   | 本文と同じように、番号やタイトルも自然な声にしましょう。実の姉妹の会話としては、ちょっと芝居がかって聞こえました。放送部アナウンサーとして朗読しているので、とくていの俳優や声優へのあこがれを強く感じさせるような表現だと評価が難しいです。           | 少しマイクに近すぎ。リアルな会話部分。一文が長い部分に注意。大阪弁上手。「理解できてしまった」聞き取りづらい。いい場面。セリフよい。番号タイトル遅い。吐息が聞こえる。言葉の前に息や「ん」が入りがち。「大丈夫」が立ちすぎ。大阪弁OK。マイクに声が載っている。表現がちょっとオーバー。声質は改善できる？息を余らせないで。姉妹の会話は良い。冒頭、話し言葉の自然な息で表現しよう。セリフと地の文のバランスに気を付けて抽出しよう。 |
| 2  | C  | 感情移入のアナウンスで攻めてほしい。楽しいのか悲しいのかが分かるように。 | 放送部アナウンサーとしての力も見られています。さすがに音域が狭すぎたと思います。普通の会話でも、もっと高低差を広く使えるはず。登場人物が多すぎると、予習無しで聞く人には理解が難しくなります。                                  | 全体少し速い。間がほしい。もう少し声量を。丁寧に読んでいる。もっと話すように読みましょう。テンポが同じ。マイクが遠いのか声が載っていない。素直→すのおに聞こえる。感情が地の文の裏にあるのが見えてこない。ブツ切れ。句末の処理注意。セリフにもっと心を乗せて。声をしっかり前に出すようにしましょう。セリフのやりとり、誰が話しているかが分かるように。状況の前後がわかりやすい抽出を心掛けて。                    |
| 3  | C  | ようやく映像が見えてくる朗読。もっと鮮明に見えるように声出しを。     | 「檸檬」は無くていいと思います。「ごらん」は上がらなくていいと思います。「ああ…埋まっている」のあたりから音量が上がって耳障りでした。スピーカーから出ている音で勝負です。急激な音量変化は聞き手に苦痛を与える場合があります。                  | リアルな会話部分。場面がわかりにくい。演技っぽい。うねりが気になる。高校生の朗読に相応しいのか疑問。気持ちが悪いというのは伝わるがシーンの中身があまり分からない。声は出ている。声を作らずに表現できる？モノローグは面白くない。演技をするのではなく、場面を描くように。「花見のさげ」？   |
| 4  | 優秀 | もっと大胆に声の使い分けを試みてください。                | 「思い切ったように」の「き」は無声化。「ほんの少し手を振って」の「す し ぶん」が無声化。「注がれる」は平板では？  | しっかりとした発声。聞き取りやすい。丁寧な読み。聞き取りやすい。セリフ良い。ラスト良い。さよなら→しゃよならに聞こえる。間が良い。ラストのゆっくりが少しくどく感じる。表現上手。男の子のセリフがもっと良ければ。句末など浮かないように。僕が話しているのかトキワさんが話しているのか、声のトーンで分かりづらい。セリフ表現工夫してみよう。  |
| 5  | 棄権 |                                      |  |  |
| 6  | C  | 登場人物思いや感じ方がつかめない。                    | 放送部アナウンサーとしての力も問われているので、せりふだけ張り切って読まれてしまうと評価が難しいです。そんなに低い声を使えるなら、番号やタイトルも、堂々と、音域を広く使って言ってください。せりふが上手だと分かりましたが、どんな場面なのか分かりませんでした。 | もう少し声量を。丁寧な読みである。セリフ上手。落ち着いた声。ラストもう一工夫欲しい。声がマイクに載らない。声をもって大きくしてほしい。セリフ上手。大阪弁OK。少ないセリフの少女の声。多く話す人は…。場面がわかりにくい。セリフと地の文のバランスを考えて抽出しよう。登場人物がどんな人物なのか不明。  |
| 7  | B  | 最初から最後までトーンが変わらない朗読になっている。           | 「そして」のあとの息継ぎは要りません。地の文の読み方、音域をもっと広く使いたいです。ほかにも、不用意な息継ぎやポーズが多すぎると思います。自然な話し方にしましょう。読点に頼らないで。                                      | 少しすべる部分あり。優しい状況が伝わる。落ち着いている。登場人物の人物像もう少し知りたい。高い音程をあまり使っていない。発音が甘い点がある。もう少し感情を載せても良い。葛藤とか。フレージングを工夫しよう。「だろー」良くない。意味の塊を伝えよう。素直な読み。   |

| 番号 | 評価 | 講評など<br>(仲山先生)                       | 講評など<br>(安田先生)  | 講評など<br>(その他の審査員)   |
|----|----|--------------------------------------|---|---|
| 8  | C  | 人物の思いが伝わってくる朗読に近い。                   | 息継ぎが、ちょっと興奮しすぎているように感じます。「それにしても…生きてい…ることがある…ときだ」まで、全部、えみちゃんが思ったことでしょうか？ 客観的な説明ではないと思います。   | 全体速い。すべて同じスピード。声はよく出ている。ナンバーコール強すぎ。マイクに息が入っている。ブツブツ切っているのもう少し滑らかに。番号強い。「作」が離れすぎ。セリフが興奮ではなく息切れに聞こえる。「～のだが」不明瞭。「ときだ」すべる。緩急ほしい。息の使い方注意。文末のしまり無い。どういう状況なのか分からないままセリフから入るとどんな人が何を思っているのかが分からない。「エミ」と出てくるまで性別も分かりません。 |
| 9  | B  | 会話文と地の文の違いを明確にすること！ トーンが変わらないのが気になる。 | せりふだけが積極的です。番号やタイトルが暗くなっています。「幻ね見た」ですか？ 「横切る」の「よ」が不鮮明です。「たった今恋しい女が下った道」でひと塊でしょう？  | 若干滑舌がうまくいっていない部分あり。同じスピード。セリフ上手だが地の文もセリフに聞こえる。分かりやすい場面。「さとるさん」口が横に開きすぎ。「ねがい」不明瞭。所々発音が甘い。「～みる」さげて。句末伸ばさない。話し手の感覚が今ひとつ伝わらない。落ち着いた読み。2人の人間関係がいまいちわからない。情景描写がやや単調。  |
| 10 | C  | 登場人物の心情にもっと近づいてほしい。                  | 「ユーミン曲」に聞こえます。他にも発音が不鮮明な箇所があります。放送部アナウンサーとして、全ての音に責任を持って伝えてください。「娘の上京」が雑です。「一大イベント」の「いい」が短すぎ。                                     | 地の文と会話文との区別がつきにくい。全体的に速い。セリフ前に間がほしい。セリフと地の文の差が欲しい。発音が甘い。口が開いていない。上から下に音が下がっていない。「父」甘噛み。もう少しゆっくりの方が聞きやすいかも。「上京」「とは言え」の前後に変化がない。親子の関係がどうだったのだろう。「父」の発音、苦手な音がたくさん出るところをなぜ敢えて抽出したのでしょうか。                            |
| 11 | 奨励 | 声の変化がない朗読になっているため内容が画になってこない。        | 「アイスクャンディー作り」が低すぎると思います。「割りばし…ただ」がずり上がっています。「再び」も不用意に低い。「甘い」のアクセントは？  | しっかりとした発音である。間、スピード、うまく演出している。地の文が音域せまい。間が長すぎる箇所あり。タイトルが下がりすぎ。「アイスクャンディー」行っている人が弱すぎる気がする。想像できる。もう少し声が前に飛ぶともっと良くなる。誰からの許可？ テンポの工夫良い。「甘い」弱すぎ。落ち着いた読み。情景良く描けている。間の取り方、セリフ良い。                                       |
| 12 | B  | 地の文は完全に読み調子になってしまっている。→伝わらない。        | 「かがと」と書かれていますか？ 「遺産度」が低くて「ぱちぱち」だけ高いです。「なんやこれ」は、そんなに叫び声かな？ 肉声しか聞こえず、スピーカーから出る音は聞こえなかったため、評価が難しいです。                                 | しっかりとした発音である。リアル感あり。マイクに声がかっていない。地の文で急に上がる所が不自然。「ナナは」不明瞭。パチパチ立てすぎ。う行気になる。「～いる」不明瞭。セリフと地の文がわかりやすい。変に上がるところがある。セリフの表情、テンポの工夫良い。最後の一文の表現がもっと良ければ。マイク遠い。テッパイとナナはどんな人物？ 人間関係が分からない。セリフよく頑張っているが、ナナはロボットのように聞こえる。     |
| 13 | C  | 登場人物の心情を意識した朗読といえる。                  | 「こどらんまん」とですか？ 「犬猫」は平板でいいと思います。「桜の根は」の次の言葉が聞き取れません。「俺は…が」でひと塊ではないと思います。肉声しか聞こえませんでした。  | しっかりとした発音である。「死体」発音にもう少し工夫を。最初のセリフの出だし分けにくい。場面そこでもいい？ 「この」こどに聞こえる。おどろおどろしい表現。「しょくしゅ」不明瞭。何を伝えたいのか。気持ち悪いか伝わらない。音の裁きが良くない。「蛆」アクセント。モノローグで訴えかけるものが乏しい。自分の声を考えて、なぜこの作品を選んだのか？ ここの場面で伝えたいことは何？                        |
| 14 | A  | 全文ミストのかかった声遣いになっているのが気になる。表現は◎       | 「別に」のあとのプレスは無くてもいいと思います。「でも…時間は過ぎていく」のように長く休んで落胆する必要は無いと思います。「切ないやら…あふれてきた」は、そんなに音量を上げなくていいと思います。「涙がホーツツッテ」になってしまいました。後半の焦りすぎが残念。 | 気持ちがよく伝わってくる。後半少し速くなってしまった。これはセリフ？ 場面は分かりますが、地の文のある所を選びましょう。声がよく載っている。息多めの声。中間少し元気すぎる気がした。後半がオーバー表現。「～見つけれられる」につながらない。感情過多。音量やテンポの工夫は良い。素直な発音。丁寧に表現できている。どんな場面なのだろう。豊かな表現力。                                     |

| 番号 | 評価 | 講評など<br>(仲山先生)                     | 講評など<br>(安田先生)  | 講評など<br>(その他の審査員)  |
|----|----|------------------------------------|---|--|
| 15 | C  | 声出しが全文にわたって薄いのが気になる。               | 15番のアクセントが違います。語尾伸びと高止まりに注意。小谷先生が少女のようでした。「美しい」の「つく」は無声化。「優しかった」が残念そうでした。音域を広く使いすぎだと思います。 | 少し語尾上げの部分あり。妙な伸びあり。音域をもっと広く使いましょう。タイトル低い。地の文の最後の下がり方が同じ音。「光をたたえて」のアクセント。「やさしかった」が悲しそう。抽出良い。キレが欲しい。文末しっかり下げよう。題名を弱くしたのは？ 善財童子のアクセント。情景はつかめるが、伝えたいことは？ 音の切れ目が伸びている。ややうねりあり。小谷先生はどんな人物？ 意味をかたまりで表現しよう。                  |
| 16 | B  | 登場人物の思いや心情のつかみ方が？                  | 「ゆめでももぼろしでも」に聞こえます。「ひとさじの」から急に興奮したけど、そうなのかな？ 作品の場面設定が特殊なので、予習せずに理解するのはかなり難しいと思います。        | 丁寧な読み。感情がよく出ている。最後もう少し余韻が欲しい。文頭はもっと高く。声を大きくしすぎると演技になってしまいます。声が前に飛ばない。口が開いていないかも。悔しさは伝わるが、声のボリュームで表現しすぎ。ボリュームはもう少し一定に。モノローグのみ。強弱のつけ方はこれでいいか。伝えたいことは？ 口許で発音せず声を前に出しましょう。どんな場面なのでしょう？ 急に声が大きくなっても場面が分からないので置いてきぼりになります。 |
| 17 | C  | もっと声幅を広げて朗読表現してはどうだろうか。            | 題名が低すぎ弱すぎ。「いつか」の「つ」は無声化。他にも、無声化ができていない箇所があります。「そとすように」に聞こえます。誰が何を確信しているのかわかりにくいです。        | 少し発音がはっきりしない部分あり。スピードが少しおかしなところあり。落ち着いた声。無声化できていません。ラストもう少し下げましょう。口が横に引っ張られての発声。「生きていた」無声化できていない。文末が低すぎて聞こえない。弱いところもしっかり伝えて。彼女のセリフが今ひとつ。1つ1つの発音をきちんとしよう「キ」の音が特に気になります。場面をしっかり描きましょう。                                 |
| 18 | C  | 文章を読んでしまっていることが映像になって見えてこない原因。     | 話が難しくてわかりにくいです。「じんせい」と書いて「じんせー」と発音します。最低音まで下がるのは文末だけにしてください。「という」の直前のポーズは無いほうがいいと思います。    | もう少し音の上げ下げがあってもいいのでは。「～なのでは」が立ちすぎ。無声化頑張りましょう。分かりやすい。言葉にキレがない。まごまごしている。スピードを変えたり、音を変えたりの工夫が欲しい。「辛いことばかり」アクセント。まだ読んでいる。筆者になって語ってほしい。「ヒトビト」しっかり発音しましょう。これを話している人の人物像が分からない。   |
| 19 | B  | 声の使い分けでそのシーンが見えるように朗読できることを知ってほしい。 | 「改めて」は「らた」を高く。「華やかに…」のように「に」時間を使いすぎでは？ 「引きずりだせた」の「ひ」は無声化。「用は済んだ」で終わるのはもったいないねえ。           | 間がほしい部分いくつかあり。声はよく出ている。単語の語尾が伸びています。面白い場面。「すぐくる」不明瞭。息多めの発声。地の文の裏に笑があるのが見えた。キレが欲しい。表現OK。文末しっかり。主人公の心が伝わってこない。落ち着いた読み。場面を描こうと工夫はしている。  |
| 20 | B  | 会話文に工夫をしていることがわかる。地の文を読んではダメ。      | 肉声しか聞こえません。「このずだい」に聞こえます。子音のSh Ch Jなどの発音を見直してください。「じゃあ…くれる」の音が不安定でした。                     | アクセントがおかしな部分あり。スピード調整はうまい。地の文をもう少し落ち着いて読むように。「この時代へは」ずだいへはに聞こえる。声のキレが欲しい。3文目くらいがうねりすぎている。音程も高く浮いている。声は良い。地の文をもっと練習しよう。彼女のセリフに心が感じられない。マイク遠いか。セリフのやりとりは会話の息で。地の文で情景をしっかり描こう。  |
| 21 | 棄権 |                                    |   |  |

| 番号 | 評価 | 講評など<br>(仲山先生)                    | 講評など<br>(安田先生)  | 講評など<br>(その他の審査員)  |
|----|----|-----------------------------------|---|--|
| 22 | 優秀 | 人物の動きや心情が見える朗読に近い。                | 「向き合った」の「っ」が不十分。「客と」の「く」は無声化。「なるほど」のあとのプレスは無くてもいいと思います。   | しっかりとした読み。聞き取りやすい。内容がよく伝わる。聞き取りやすい。面白い場面。無声化。発声良い。文末速くなる。「どうしても〜」セリフが弱くマイクに載らない。大阪弁OK。間がほしい。声はよく出ている。表情もある。素直な発声。地の文とセリフの差がしっかり描けている。2人の人物像が印象的。   |
| 23 | A  | 声出しに工夫が見られる。そのシーンに見合った声出しになっている。  | 「けれども」から始まるのは適切かな？「起こさせて」のアクセントが違います。地の文の発音を明瞭にしてください。  | 大阪弁はうまく出ているが、もう少しゆっくりと読んでほしい。ラストもう一工夫欲しい。「おだ」わだに聞こえる。速くて聞こえない。セリフなんて言った？ 超え裏返り。マイクに声が載らない。シーンが分からない。第一のセリフの冒頭注意。弱い所が響かない。1分間ちよつとの間にしては登場人物が多すぎて人間関係が不明。抽出する場面を考えて。   |
| 24 | C  | やや棒読み調子になっている。感情を出すために何をすればよいか？   | 「いろんな」の「い」が雑です。「泣いていた」のように、文末がかわいそうな高止まりにならないように注意。「想像して」の次のせりふ、忙しすぎてもったいないです。「言おうと」が「イウォート」に聞こえます。                       | 長い文での切り方、うまくできていない。発声は良い。タイトル聞きにくい。地の文とセリフの差をつけましょう。口が開いてなさそうな発音。圧が弱めの声。母のセリフに気持ちが入っていない。「ぼく」破裂音がマイクに載る。句末・文末の処理に注意。母親のセリフが母親らしくない。テンポも注意。やや単調な読み。ぼくが泣いている場面、その深刻な感じが伝わらない。  |
| 25 | B  | 登場人物の動きが今ひとつ映像になって見えてこない。         | 1文目が、いきなり難しいです。無名な作品は予習せずに聞くことになるから、抽出には注意が必要です。「にかーと」から急に表情豊かになっていました。もうちょっと、一貫性がほしいです。                                  | 滑舌、発声良いです。間がほしいところいくつかあり。セリフ上手。地の文とのバランスよい。夕行、特に「チ」の音が気になる。じゃんじゃ町？ 聞きづらい。地の文に感情が薄い。地の文の時キャラが生きていない。全体に表情のつけ方に疑問。人間関係が全く分からない。1分間ちよつとの場面の割に登場人物が多すぎる。   |
| 26 | 棄権 |                                   |   |  |
| 27 | 優秀 | 内容の動きに忠実に反応しているのがよく分かる朗読。         | 「びゅっと」は頭高ではなく平板だと思います。冒頭の「ほーっ」は無くてもいいと思いました。最低音まで下がるのは文末だけにしましょう。それなりに楽しませることはできていると思います。                                 | 滑舌甘い。丁寧な読みである。スピード調整をもう少し研究してほしい。地の文がナレーター的な読み。もう少し抑えたほうがセリフの上手さが際立ちます。声がかすれ。ナレーションのようで朗読ではないみたい。表現頑張っている。うねりが気になる。主人公は食レポの人？ おいしそうー！ 確かにタコ焼きがおいしそうだ。「これは」の表現には工夫の余地。冒頭「ほっ」から入るのはどうかな。表現力豊か。素直な発声。「これは！」タコ焼きの割に大きすぎるか。 |
| 28 | 奨励 | 最初から最後までトーンが同じ。スピードの変化をうまく活用している。 | 「家を一出るときに」のように、助詞伸びが耳に着く箇所があります。「かえてきた」の立て直しは無くてもいいと思います。「一人じゃないってーかくしんできる」の助詞伸びも無くてもいいと思います。お母さんはどんな人柄かな？ さばさばしてるんじゃないの？ | マイクの使い方良い。丁寧で滑舌もよい。内容がよく伝わってくる。いい場面。会話なのか地の文なのか分からない箇所あり。タイトルからもう少し間がほしい。「重い」不明瞭。お母さんのセリフで母の性格が分からない。「確信」不明瞭。猫のおはじき？ 突然出てきた、何だろう？ フレーズの作り方に注意。弱い所もしっかり届ける。この場面で伝えたいことは何？ 素直な発声。ぼくと母さんの人物の違いを描こうとしている。                  |

| 番号 | 評価 | 講評など<br>(仲山先生)                     | 講評など<br>(安田先生)  | 講評など<br>(その他の審査員)   |
|----|----|------------------------------------|---|---|
| 29 | A  | 気持ちが入っているのがよく分かる。声の使い分け◎           | 「にじんだ」は中高では？「言葉の…あつた」まで一息だと思えます。地の文は、もっと母音の発音を明瞭にしてほしいです。放送部アナウンサーとして朗読しています。「殺意を覚えて」という言葉の前に「殺してやりたい」と言っているから、「殺意」で怖がらせなくていいと思えます。 | 内容がよく伝わってくる朗読。声量良い。地の文とセリフの差小さい。「えんきの色？」不明瞭。どんなシーンなのか想像できない。うねり気になる。演じすぎ。ボリューム一定の方がよい。「にじんだ」アクセント。文末処理。ここはどういう場面か伝わらない。短くしか抽出できない中、やたらとタイトルが長い作品を選ぶのはどうか。どんな場面なのか冒頭から分からない。   |
| 30 | B  | 読み調子が人物の心情を消してしまっている。              | 作者名の無声化ができていません。話すように読もうとしているのは分かりました。「しょせん私は第三者目線」ではないと思えます。読点に囚われずに読んでほしいです。  | 少しポップ音がマイクに入る。少しスピードと間に関して研究しよう。無声化を頑張りましょう。聞き取りやすい声。マイクの吹かれ。女性目線だと分かるまで時間がかかる。声良い。「～ということ」間あきすぎ？「かけた」不明瞭。「ペア、ふくらませ」吹く。「けしき」不明瞭。発音粗削り。話し手が女というのが分かりにくい。伝えたいことは？「フクトク」無声化注意。主人公は女の子？君のその素敵な男の子の声でなぜこの場面を選んだの？途中まで男の子が語っていると思って聞いてしまいました。 |
| 31 | B  | 声の使い方◎<br>声の出し方◎<br>変化に富んだ声遣いを感じる。 | 「でも」から始まるのは適切かどうか。2文めや4文めが低く怖く感じます。もうちょっと自然な流れにできないかな？せりふがやかましくなりました。音量の変化には気を付けて。  | 丁寧な読みである。少し聞き取りにくい発音あり。一文一文のトーンが違う。会話文で急に声が大きくなる。マイクに声が載らない。「彼女たちは私を～」急に下がりすぎ。一文一文表情が変わって、何の感情か分からない。工夫はしている。声の表情がコロコロ変わる。コントロールできているのか。セリフの大きさは必要？素直な発声。長いセンテンス息が苦しいか。場面の途中まで主人公ががん患者なのかが分からない。抽出工夫しよう。                                |
| 32 | 奨励 | 声のタッチの仕方◎<br>感情移入の在り方も◎            | 「こうふくなくしゃくたく」に聞こえます。「く」の無声化ができていない箇所があります。「協調性もある」に聞こえます。「ほんつと」は、そこまで存在感を出さなくていいと思えます。まるで自分が答えたように聞こえてしまいます。「あたしだってやりたくなかったよ」みたいな。  | マイクに声通っていない。しっかりとした読み。声量はよく出ている。わかりやすい場面。地の文とセリフが読み分けられている。「食卓」無声化。タイトルから本文まで間がない。キレが欲しい。ネガティブな文の時声小さくなりすぎ。無声化が全体的に気になる。話のキモが分からない。抽出場所の問題。マイク遠いか。人物像を描く場面抽出わかりやすい。素直な発声。   |
| 33 | B  | 読み調子が朗読の良さを消してしまっている。声幅は十分。        | 文末に力が入りすぎる箇所があります。文末で息を吐きだすのも癖になっていると思えます。「才能は」のあとの息継ぎは要らない。「いくらなんでもひどすぎる」が、つがやきになってませんでした。   | 少し甘い滑舌。急に声が大きくなってしまった。間を研究しよう。文末しっかり下げましょう。ブツ切り感。ところどころ淡々としている。「ひよろひよろ」気になる。どこも不明瞭。声がよくマイクに載っている。もう少し間があっても良い。句末・文末の処理しっかり。テンポに工夫を。意味の塊で表現しよう。やや区切りすぎ。「葉」アクセント。表現を工夫しようとしている。   |